

第4章 施策の体系(施策メニュー)

たのしむ ～自転車で健幸に！心も体もリフレッシュ。「自転車のまち」の魅力発信～

①自転車レース・イベントの開催・支援

- ①-1 国際的サイクルレースの開催支援
- ・ ①-2 市民サイクルイベントの開催・支援

②サイクルツーリズムの推進

- ②-1 レクリエーションルートの整備
- ・ ②-2 サイクリングマップの作成

③自転車のまちの魅力向上

- ③-1 自転車のまちの情報発信（SNS等の活用）、官民連携による企画検討
- ・ ③-2 サイクルパークの設置
- ③-3 シェアサイクルの利用促進・エリア拡大
- ・ ③-4 マルチモビリティとの連携

まもる ～悲しい事故をゼロに。。。「自転車の安全な利用」の推進～

①交通安全教育の推進

- ①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施
- ①-2 交通安全教室の実施
- ①-3 子ども自転車運転免許制度

②正しい自転車利用の啓発

- ②-1 ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置
- ・ ②-2 自転車保険加入、ヘルメット着用、自転車整備方法の周知・普及促進
- ・ ②-3 自転車安全利用の人材育成
- ・ ②-4 自転車安全利用に関する広報・啓発

③災害時における自転車活用の推進

- ・ ③-1 災害時における自転車利用の推進

●：重点的に取り組む方策

利用目的				計画目標							
通勤 通学	買物 私用	余暇 スポーツ	その他	利用 増加	事故 減少	満足度 向上	快適性	安全性	ルール ・マナー	情報 提供	市の 取組
		○		○						○	○
		○		○					○	○	○
	○	○		○			○			○	○
	○	○		○						○	○
○	○	○		○	○				○	○	○
		○		○	○		○		○	○	○
○	○	○	○	○			○				○
	○	○	○	○			○				○

利用目的				計画目標							
通勤 通学	買物 私用	余暇 スポーツ	その他	利用 増加	事故 減少	満足度 向上	快適性	安全性	ルール ・マナー	情報 提供	市の 取組
○	○	○			○			○	○	○	○
○	○	○			○			○	○	○	○
○	○	○			○			○	○	○	○
○	○	○			○			○	○	○	○
○	○	○			○			○	○	○	○
○	○	○			○			○	○	○	○
○	○				○			○	○	○	○
			○					○		○	○

○ ○ : 利用目的・計画目標に関連する方策



はしる ～自転車って便利!「快適な自転車ライフ」の実現～

①自転車通行環境の整備

- ①-1 自転車ネットワーク路線の整備
- ・ ①-2 交差点等危険箇所の重点的な改善

②公共交通機関との連携

- ・ ②-1 交通結節点の環境整備

③自転車利用の促進

- ③-1 サイクルサポート施設の認定・設置
- ・ ③-2 電動アシスト付自転車等の利用啓発
- ・ ③-3 自転車通勤の促進
- ・ ③-4 自転車利用優遇制度の導入

とめる ～モラルを持って!「適正な駐輪」の推進～

①駐輪場の利便性向上(利用しやすさ)

- ①-1 駐輪場の適正配置の推進
- ・ ①-2 民間事業者による駐輪場整備の支援
- ・ ①-3 駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進
- ・ ①-4 駐輪場の情報発信の充実
- ・ ①-5 利用者サービスの充実

②放置自転車の解消

- ・ ②-1 放置自転車対策(指導・撤去・啓発)の強化
- ・ ②-2 放置自転車の活用

●: 重点的に取組む方策

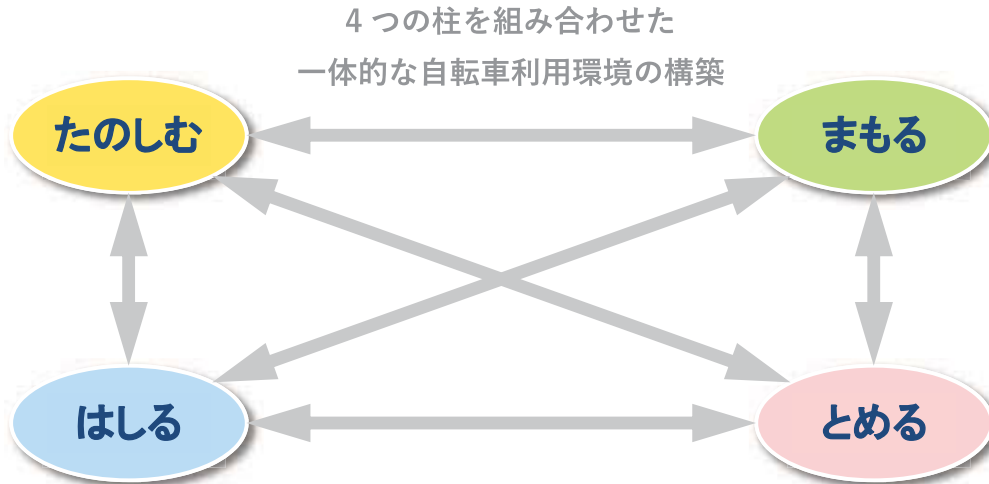
利用目的				計画目標							
通勤 通学	買物 私用	余暇 スポーツ	その他	利用 増加	事故 減少	満足度 向上	快適性	安全性	ルール ・マナー	情報 提供	市の 取組
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

利用目的				計画目標							
通勤 通学	買物 私用	余暇 スポーツ	その他	利用 増加	事故 減少	満足度 向上	快適性	安全性	ルール ・マナー	情報 提供	市の 取組
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>										<input type="checkbox"/>

: 利用目的・計画目標に関連する方策



○「たのしむ」、「まもる」、「はしる」、「とめる」の4つの柱について、それぞれを組み合わせることで、一体的な自転車利用環境の構築を目指します。



○計画の柱の組み合わせ例



●サイクリングマップへの自転車ルール掲載



出典：さいたま市サイクリングマップ（大宮駅・さいたま新都心駅周辺）



・ 自転車レーンの利用者に向けた
走行ルールに関する注意喚起を促す看板設置

● 傘差し運転注意喚起看板の設置



出典：さいたま市提供資料



みんなで守ろう!! 自転車利用のルール

自転車安全利用五則

4 安全ルールを守る

- “飲酒運転”“二人乗り”“並進”は、禁止されています。
- 夜間は“ライト”をつけましょう。
- 交差点では“信号”を守り、“一時停止”をして、左右の安全を確認しましょう。自転車事故の多くは“交差点”で起きています。



傘さし、携帯電話、イヤフォン等の“ながら運転”も禁止されています



高額賠償事例が増えて
います。

安心して利用するため、
保険加入も大切です。

ルールを守らない“危険”な走行により、歩行者等に怪我をさせて、高額な賠償となるケースもあります。ルールを守り、備えとして“保険”に加入することも大切です。

事故の内容	賠償額
小学生が自転車で、夜間、歩行中の高齢女性と正面衝突 [神戸地方裁判所、2013.7.4判決]	9,521万円
高校生が自転車で、車道を斜め横断し、前からきた自転車と衝突 [東京地方裁判所、2008.6.5判決]	9,266万円
男性が自転車で、ペットボトル片手にブレーキをしないで、横断歩道を横断中の女性と衝突 [東京地方裁判所、2003.9.30判決]	6,779万円

[一般社団法人日本損害保険協会資料]